

授業科目 装具実習 II (下肢装具実習)

【担当教員名】 東江 由起夫、笹本 嘉朝、須田 裕紀、 高橋 素彦		対象学年 3	対象学科 義肢
		開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 4	時間数 120
【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
			技能・表現
		○	◎
【概要・一般目標：G10】 下肢の疾患・障害に対応した下肢装具を製作・適合できるようになるために、採型・採寸、モデル修正、製作と組立て、および適合と問題解決等の基本技術を習得する。			
【学習目標・行動目標：SBO】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者との対面場面で義肢装具士として適切な行動をとることができる。 2. 採寸・採型作業を確実にこなせる。 3. 陽性モデル修正作業を正確に行える。 4. 材料の加工や組立てなど、製作工程において安全かつ効率的に作業できる。 5. チェックアウト・プロトコルに則り、装具の適合状態を確実に判断できる。 6. 適合不良に対し適切に対処できる。 			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	足装具の採寸・採型	1	
2	足装具の陽性モデル修正	2, 3	
3	足装具の製作	3, 4	
4	足装具の適合チェックアウト	1, 5	
5	短下肢装具の採寸・採型	1, 2	
6	短下肢装具の陽性モデル修正	3	
7	短下肢装具装具の製作	4	
8	短下肢装具の適合チェックアウト	1, 5	
9	PTB 短下肢装具の採寸・採型	1, 2	
【使用図書】		<書名>	<著者名>
		<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	装具学 第4版	日本義肢装具学会 監修	医歯薬出版 2013・6,200円・ISBN：9784263214183
参考書			
その他の資料			
【評価方法】 製作装具 30%、レポート 50%、態度 20%とする。 ※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。		【履修上の留意点】 本科目「装具3(下肢装具：実習)」は、「装具実習3(下肢装具：講義)」とあわせて行われるため、両科目の相互理解が重要である。	